

鹿児島県感染症情報

2022年 第47週報 (11月21日~11月27日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、11月20日時点の届出総数が**319333**例となりました。厚生労働省は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを季節性のインフルエンザと同じ五類への引き下げを念頭にした作業を始めます。

昨年夏の第5波における感染者死亡率は0.41%、今年初めの第6波は0.14%、今夏第7波は0.09%と漸次減少傾向を呈しています(11/9の厚生労働省専門家組織「アドバイザリーボード」の資料より)。今後、死亡率や重症化率など重篤度データ再評価の検討を行う予定です。

11/27、県内の養鶏場で高病原性の鳥インフルエンザ(HPAI)が確認(今シーズン国内19例目)されました。鳥インフルエンザの感染が疑われる鶏等の肉や卵が流通することはありません。鳥インフルエンザウイルスは熱に弱く、ウイルスは適切な加熱により死滅するとされており、食品を十分に加熱調理して食べれば感染の心配はありません。

右図には鳥インフルエンザの分類表を示してあります。鳥インフルエンザウイルスが変異し、**新型インフルエンザ**がひとたび発生すると、人に免疫(抵抗力)がないために感染が拡大し、瞬間にパンデミック(世界規模の大流行)を引き起こします。WHO(世界保健機関)や厚労省の予測によると、**新型インフルエンザウイルスの毒性が強い場合**、世界で7400万人が感染死し、日本国内では最悪64万人が死亡すると想定しています。なお、2022年11月27日時点での新型コロナウイルス感染症における世界の感染死者数は約660万人です(次頁には過去100年余りで発生した**新型インフルエンザ**について取りまとめてあります)。

我が国における鳥インフルエンザの分類

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスが引き起こす鳥類の疾病です。我が国の家畜伝染病予防法では、病原性の程度及び変異の可能性によって、高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)、低病原性鳥インフルエンザ(LPAI)及び鳥インフルエンザの三つに分類されています。

平成23年4月の同法改正前は、高病原性鳥インフルエンザ(強毒タイプ・弱毒タイプ)と鳥インフルエンザに分類されていましたが、法改正を機に国際獣疫事務局(OIE)が定めている国際的な基準に合わせるため、現在の分類に変更されました。

病原性	ウイルスの亜型	
	H5, H7	H5, H7以外
低い	低病原性鳥インフルエンザ(LPAI) 対象種：鶏、あひる、うずら、きじ、だらう、ぼろぼろ鳥、七面鳥	鳥インフルエンザ 対象種：鶏、あひる、うずら、七面鳥
高い(※)	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI) 対象種：鶏、あひる、うずら、きじ、だらう、ぼろぼろ鳥、七面鳥 OIEの診断基準(※)に準じて判定	

※次に示すOIEの診断基準(高病原性鳥インフルエンザ)のいずれかを満たした場合に、病原性が高いと判定
 ①6週間齢の胚内接種試験で病原性指標(IPV)が1.2以上又は4~8週間齢の胚内接種試験で75%以上の致死率を承す。
 ②H5又はH7亜型のウイルスで、特定部位のアミノ酸配列が既知のHPAIウイルスと類似している。

家畜伝染病予防法の改正に伴う変更(H23年4月)

(改正前) (改正後)

法定伝染病
 高病原性鳥インフルエンザ → 高病原性鳥インフルエンザ(強毒タイプ)
 高病原性鳥インフルエンザ(弱毒タイプ) → 低病原性鳥インフルエンザ
 届出伝染病
 鳥インフルエンザ → 鳥インフルエンザ(変更なし)

第47週の定点報告疾患の報告状況を見ると、県内には6週連続で流行発生警報域の疾患はありません。インフルエンザの報告が7人ありました。年齢別をみると、15~19歳が6人、20~29歳が1人となっています。また、全数報告疾患の届出状況を見ると、つづが虫病が3週連続で届出がありました。予防対策に万全を期してください。

☆一~五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核1例(頸部リンパ節結核1例) 追加結核1例(第46週)
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	つづが虫病4例、日本紅斑熱1例
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病1例 追加急性脳炎2例(第46週2例)
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症3554例 (うち、みなし陽性者3例及びコロナ・フォローアップセンターでの確定者140例を含む)
獣医師が届出を行う感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類(今シーズン2カ所目鶏舎の飼養鶏から検出)

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点**91**、小児科定点**54**です。(インフルエンザ定点1減)
- ・第47週の定点把握対象疾患の総報告数は278人で、前週より14人多い報告数でした(4頁参照)。
- ・**流行発生警報**の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所 該当なし
- ・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所 **【水痘(基準値1.0)】**：西之表(1.00)

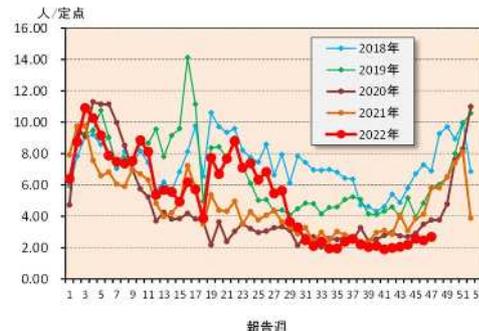
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第47週の感染性胃腸炎の報告数は145人で、前週より15人多く、定点当たりの報告数は2.69であった。

年齢別では、10～14歳（21人）、1歳（16人）、3歳（15人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（9.50）、鹿児島市保健所（5.46）、鹿屋保健所（5.00）の順に多い。

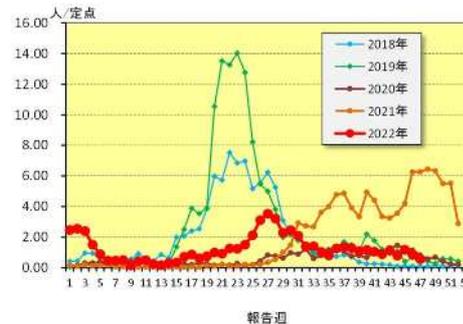


(2) 手足口病

第47週の手足口病の報告数は31人で、前週より15人少なく、定点当たりの報告数は0.57であった。

年齢別では、1歳（20人）、2歳（4人）、3歳（3人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（1.57）、鹿児島市保健所（1.38）、加世田保健所（0.33）の順に多い。



(3) RSウイルス感染症

第47週のRSウイルス感染症の報告数は23人で、前週より2人多く、定点当たりの報告数は0.43であった。

年齢別では、1歳（7人）、2歳（6人）、6～11ヶ月（5人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（1.46）、伊集院保健所（0.50）、加世田保健所、志布志保健所（それぞれ0.33）の順に多い。



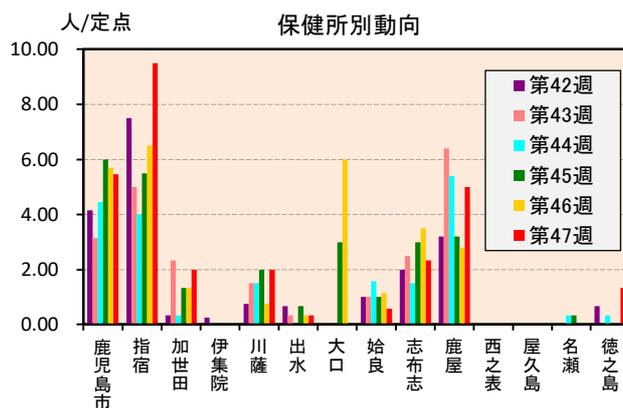
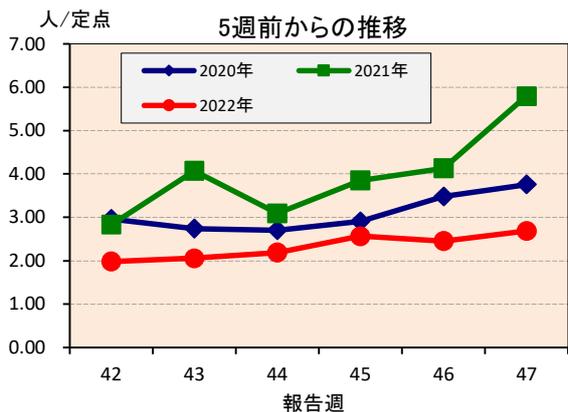
【新型インフルエンザ関連情報】

過去の新型インフルエンザの特徴						
パンデミック発生年・名称	発生源	ウイルス亜型 (由来動物)	基本再生産数 (推計)	致命率 (推計)	全世界における超過死亡者数 (推計)	最も被害の大きかった年齢層
1918年 スペインインフルエンザ	不明	H1N1 (不明)	1.2-3.0	2-3%	2,000-5,000万人	若年層
1957-58年 アジアインフルエンザ	中国南部	H2N2 (鳥由来)	1.5	<0.2%	100-400万人	全年齢層
1968-69年 ホンコンインフルエンザ	中国南部	H3N2 (鳥由来)	1.3-1.6	<0.2%	100-400万人	全年齢層
2009-2010年 インフルエンザA(H1N1)2009	北アメリカ	H1N1 (豚由来)	1.1-1.8	0.02%	100,000-400,000人	小児 若年層

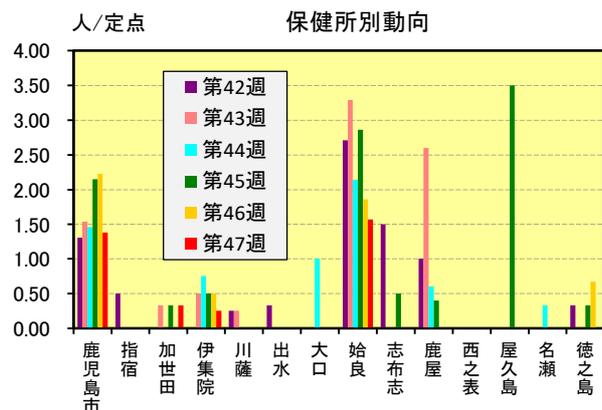
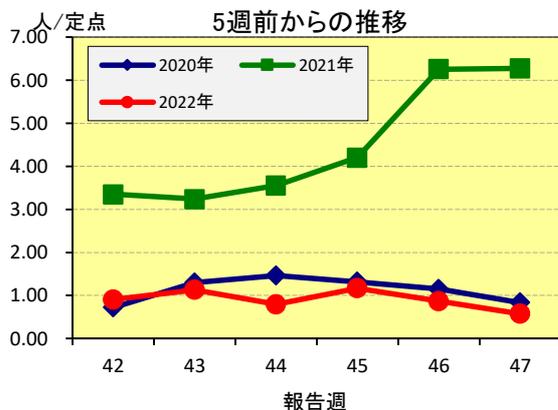
参考：
WHO : Pandemic Influenza Risk Management WHO Interim Guidance, 2013

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

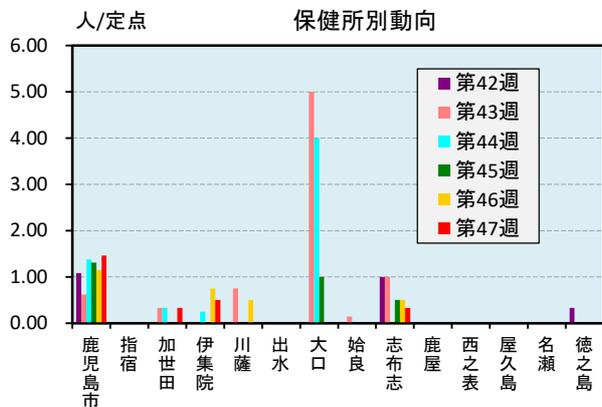
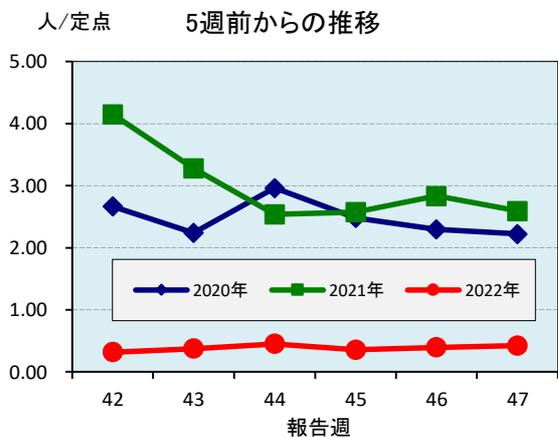
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

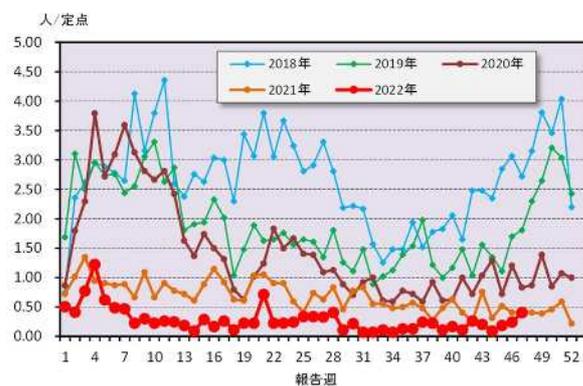


(3) RS ウイルス感染症

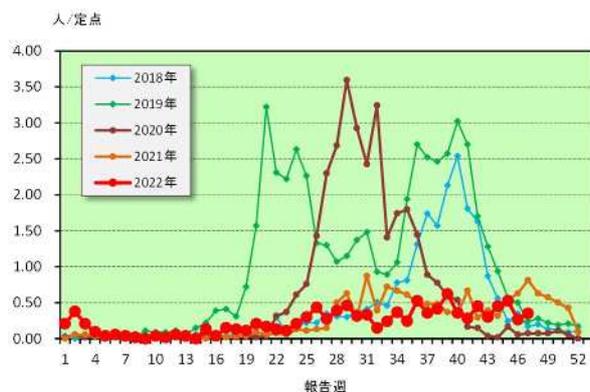


☆注目される感染症の発生状況

★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（鹿児島県）



★ ヘルパンギーナ（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第47週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	7	0.08	38
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	11	0.20	1,057
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.41	711
	○ 感染性胃腸炎	145	2.69	12,976
	水痘	4	0.07	195
	手足口病	31	0.57	3,115
	○ 伝染性紅斑	1	0.02	36
	突発性発しん	13	0.24	938
	○ ヘルパンギーナ	19	0.35	587
	流行性耳下腺炎	1	0.02	100
	○ RSウイルス感染症	23	0.43	1,221
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	1	0.14	103
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	9
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
報告数合計		278	0	21,093

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年42週)	4週前 (2022年43週)	3週前 (2022年44週)	2週前 (2022年45週)	1週前 (2022年46週)	今週 (2022年47週)
インフルエンザ	報告数	1	-	-	-	-	7
	定点当り	0.01	-	-	-	-	0.08
RSウイルス感染症	報告数	17	20	24	19	21	23
	定点当り	0.32	0.38	0.45	0.36	0.40	0.43
咽頭結膜熱	報告数	8	4	7	8	8	11
	定点当り	0.15	0.08	0.13	0.15	0.15	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	14	11	5	10	13	22
	定点当り	0.26	0.21	0.09	0.19	0.25	0.41
感染性胃腸炎	報告数	105	109	116	136	130	145
	定点当り	1.98	2.06	2.19	2.57	2.45	2.69
水痘	報告数	5	7	9	8	8	4
	定点当り	0.09	0.13	0.17	0.15	0.15	0.07
手足口病	報告数	48	60	42	62	46	31
	定点当り	0.91	1.13	0.79	1.17	0.87	0.57
伝染性紅斑	報告数	1	1	9	-	-	1
	定点当り	0.02	0.02	0.17	-	-	0.02
突発性発しん	報告数	16	22	13	14	19	13
	定点当り	0.30	0.42	0.25	0.26	0.36	0.24
ヘルパンギーナ	報告数	24	16	24	28	14	19
	定点当り	0.45	0.30	0.45	0.53	0.26	0.35
流行性耳下腺炎	報告数	1	-	3	5	2	1
	定点当り	0.02	-	0.06	0.09	0.04	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	1	1	-	4	3	1
	定点当り	0.14	0.14	-	0.57	0.43	0.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	1	-	-	-	-
	定点当り	-	0.08	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.08	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点点あたり報告数(男女合計)

2022年47週(11月21日～11月27日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜炎		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り
総数	7	0.08	23	0.43	11	0.20	22	0.41	145	2.69	4	0.07	31	0.57	1	0.02	13	0.24
鹿児島市	-	-	19	1.46	3	0.23	18	1.38	71	5.46	2	0.15	18	1.38	1	0.08	5	0.38
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	19	9.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	6	2.00	-	-	1	0.33	-	-	-	-
伊集院	5	0.83	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	2	0.50	1	0.25	8	2.00	-	-	-	-	-	-	1	0.25
出水	1	0.20	-	-	1	0.33	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	1	0.09	-	-	4	0.57	1	0.14	4	0.57	-	-	11	1.57	-	-	4	0.57
志布志	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	7	2.33	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	25	5.00	-	-	-	-	-	-	2	0.40
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム腫は除く)		感染性髄膜炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り	報告数	定点点当り
総数	19	0.35	1	0.02	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	11	0.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	6	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	1	0.33	-	-

